

NOSAI

広島

のうさい
ひろしま



特集

がんばろう!! 広島
〜農業で広島を元気に〜



第19号
2019

表紙写真紹介

尾道市御調町に住む高橋春香ちゃん(6)と香菜ちゃん(7カ月)姉妹。春香ちゃんは、学校から帰ると飛んでいってお世話をすくらい、香菜ちゃんが大好き。一緒に住んでいる大好きなおじいちゃんの作るお米を食べて、2人仲良く遊びます。



がんばろう!! 広島

～農業で広島を元気に～

広島県は、中国山地沿いの豪雪地帯から瀬戸内の温暖な島しょ部まで、幅広い気象条件のもと多種多様な農業が営まれています。昨年7月の西日本豪雨では、大変な被害となりましたが、さまざまなかたちで農業に関わり、頑張っている人たちが大勢います。生産者、消費者それぞれの立場から、広島県の農業についての思いをお聞きしました。



農業の喜び・楽しみをつなぐ

広島市安佐北区狩留家町
下谷 邦代さん 72歳

農業に携わって40年以上。ユリやキンギョソウなどの花や米、野菜を少量多品目栽培しています。平成6年に生産者約90戸で「上深川フレッシュ会」を結成し、現在は毎日、朝市を開いています。農作物や加工品などを安定して供

給できるように、皆さんと連絡を取りながら、農産物の種類や量を調整します。朝市は、人と人の交流の場として地域の人たちに喜ばれています。私自身も、常連のお客さんと話しをするのを楽しみにしています。

生産者の中に、立派なハクサイを出荷されている80代の女性がいいます。こうした方の栽培方法を継承し、次世代の農業者が育つこと

を念願しています。農業は、生涯現役でいられる魅力ある仕事です。自分の作った物を消費者の方たちに「おいしい」と食べてもらうことが、農家の喜びです。農業を通じて得るものを、たくさんの人と共有したいですね。

広島市にはさまざまな就農支援制度があり、研修を受けて就農される方が増え、広島農業は活性化してきていると感じます。広島農業がますます発展することを願っています。

給食に地元産の食材を

福山市東村町
若草会事務局
廻野 明倫さん 70歳

「子どもたちに安全で新鮮な野菜を食べさせたい」と東村町の生産者らが集まり、平成24年に「若草会」が発足しました。それぞれが栽培した農産物を、主に地元の小学校と保育所の給食用に納めて

います。結成時8名だった生産者は23名に増え、年間約50品種の食材を届けています。子どもたちに食べてもらうので、なるべく農薬を控えて栽培した旬のものを提供するように心がけています。

小学校のランチルームには、その日に使われた食材と生産者が写真付きで紹介されます。出前授業で学校を訪問したり、給食と一緒に食べる機会があったりと、児童との交流も多く、やりがいがあります。

食育の一環として、水田20㍓で毎年児童らと田植えや稲刈りといった農業体験を行っています。昔ながらの手植えや手刈りと合わせ、機械での近代農業を体験させることで、将来の担い手育成にもつながればと期待しています。もちろん、ここで収穫した米は、毎日の給食で使われています。

私たちの活動を通じて、これからの地域を担ってくれる子どもたちがすくすくと育ち、地域が活性化していくことを願っています。(廻野さんは写真後列右端)



若手育成でかんきつ拡大へ

大崎上島町

河田 忠宏さん 58歳

かんきつ農家の2代目として19歳で就農し、25歳のときに経営を引き継ぎました。今は、露地やハウスで温州ミカン25ア、デコポン、レモンなどを141ア栽培しています。作業しにくい急傾斜地を平地へ、密植している園地をゆとり

ある植栽間隔の園地へ転換し、効率的に作業できるようにしました。そうしているうちに、生産者II経営者という意識が芽生え、その経験が、新規就農者にアドバイスするときに役に立っています。大崎上島町のかんきつ農家の高齢化が深刻なこともあり、今までに6人の新規就農者のサポートをしてきました。農業を始めてこれまで大変なこともありましたが、「自分で苦労

してやってきたことはいつか役に立つ」ということを、人に教えて初めて気が付きました。現在、Iターンした50代の男性が研修に来ています。数年後にはしっかり自立できるように協力していきたいです。

農作業に学生が活躍

庄原市七塚町

県立広島大学

Farmer's Hands 部長

峰 潤平さん 20歳

県立広島大学の農林業ボランティアサークル「Farmer's Hands」は、農業と関わる中で、座学では学べないことを体験して学び、地域を盛り上げていくことを目標に、平成16年に結成し

ました。90人が在籍し、授業がない土・日・祝日、春季・夏季休暇に活動しています。三次市と庄原市の大型農家を基に、田植えや稲刈り、リンゴ・ブドウの収穫や選別、ハウレンソウの包装作業などを手伝っています。農家から連絡を受け、作業内容に応じて必要人数を定め、参加できる部員を募ります。年間約30戸の農家から要請があり、要請の回数は年に1回から10回以上とさまざまです。

私の家は農家ではありませんが、黙々とできる農作業が好きで、農家の方から「ありがとう」と感謝されると、やはりうれいすね。毎年、1年生のオリエンテーションで部員を募集し、農業未経験者も興味を持って入部してくれました。部員たちも、みんなで作業するのが楽しいと言っています。高齢の農家の手伝いに行くこともあり、そうした方々が元気に農業できる環境を維持できるように、この活動を頑張っていきたいと思っています。(峰さんは写真中央)

地域の米と野菜を力に

北広島町 どんぐり北広島ソフトテニスクラブ

榎本 有花さん 28歳

3年前に、地域密着型のクラブチームとして「どんぐり北広島ソフトテニスクラブ」は発足しました。メンバーは8人で、それぞれが地元企業などに勤務しながら、ソフトテニスの練習に励ん

でいます。地元の農事組合法人「戸谷亀山」にお米を提供していただき、毎日おいしいお米を食べています。地域の方から新鮮な野菜を差し入れていただくことも多く、とても感謝しています。そうしたたくさんの方々の応援があるからこそ、私たちは頑張れています。チームで田植えや稲刈りに参加させてもらうこともあり、私は北広島町に来て、初めて田植

えを体験しました。最初は田の感触にびっくりしましたが、慣れてくると楽しいものですね。収穫祭では餅つきをしたり、地域の方とも楽しく交流させていただいています。2018年にインドネシアで開催された「第18回アジア競技大会」ソフトテニス競技では、チームの2人が金メダルを取ることができました。地域の方々に恩返しができるようこれからも結果を残し、メディアを通じて日本や世界へ「どんぐり北広島」を広げていきたいです。

日本の和牛を後世に

世羅町

渡部 高明さん 59歳

平成27年に7頭から始め、現在、繁殖牛35頭、子牛約25頭を飼育しています。1頭1頭と向き合い、えさの配分など個々に合った飼いを大切にしています。これまで70頭ほどの出産に立ち

会ってきましたが、今でも変わらず生命の誕生に感動します。また、やったことが直接結果に出るのでやりがいがあります。大変なこともあるけれど、それ以上の喜びがある、すごく良い仕事です。一方で、畜産を新たに始める人は少なく、高齢化などで畜産農家はどんどん減ってきています。今後の世界の食糧不足を考えたとき、日本は大丈夫なのかと心配しています。一度衰退したものを盛

り返すのは想像以上に難しいと思います。今、私にできることは、可能な範囲で牛を増やしていくこと、少しでも多くの人に牛飼いの素晴らしさを伝えていくこと。そのため、農家同士のつながりをつくり、また、研修生も受け入れていこうと思っています。日本の和牛の肉の柔らかさやうま味はどこにも負けません。後世につないでいけるよう、この広島の地で、これからも頑張っていきたいです。



ファーム・おだの森原敏昭組合長(右)と吉弘昌昭顧問



加入者証を授与される森原組合長(左)

収入保険契約者第1号加入者証授与式

全国各地で加入申請手続きが進められている収入保険制度について、広島県では、東広島市河内町の「農事組合法人ファーム・おだ」が県内の収入保険契約者第1号となり、平成30年12月6日、NOSAI広島で加入者証の授与式を行いました。NOSAI広島の長本憲組合長理事から、ファーム・おだの森原敏昭組合長理事へ、第1号記念加入者証が授与されました。

農事組合法人ファーム・おだ

森原敏昭

組合長理事(70)



「経営を安定・発展させ、住んで良かったと思える地域をつくりたい」と森原組合長

を管理し、栽培面積86畝のうち約53畝に水稻を作付け、他に大豆、小麦、野菜を栽培しています。また、米粉パンを製造・販売する「パン&米夢」を運営し、一昨年からヒノヒカリを使用した「日本が峰」というお酒の販売を始め、42人を雇用しています。

昨年の西日本豪雨では、私たちのほ場でも65カ所です砂崩れなどの被害や水路が断たれるといった二次災害が発生しました。収入保険の導入がもう1年早ければ良かったと思います。

収入保険の魅力は、作物の種類を問わず、幅広いリスクによる収入の減少を補償するという点だと思えます。収入全体を補償してもらるので、新しい作物などにも挑戦しやすく、若い人たちも経営に関わり、チャレンジできると思います。

農業には作物の価格変動など波があり、そうした中で雇用を維持し、安定経営していかなければなりません。収入保険に加入することで、先を見据えた経営をし、地域の農地・農業を守っていきたく考えています。

青色申告を しましょう

収入保険には、加入申請時に青色申告(簡易な方式を含む)の実績が1年分あれば加入できます。

新たに青色申告を始めるためには、個人の場合3月15日までに、管轄の税務署に「青色申告承認申請書」(左図参照)を提出する必要があります。

この申請を行えば、その年の所得から、青色申告を行うことができます。(申告時期は翌年2月~3月)



保険期間(個人の場合 平成31年1月~12月)中に実施していただくこと

- 平成30年の確定申告が終わったら**
青色申告書を提出した後、**税申告の期限の日から1カ月以内**に決算書等の税務申告書類の写しなどを速やかに提出してください。
平成30年分の農業収入金額申告書を作成し、5年分(平成26年から30年分)で、基準収入金額・保険料等の再計算を行います。
※基準収入の規模拡大・収入上昇傾向特例を適用するかどうか選択可能
※変更前の保険料・積立金と変更後の保険料・積立金の間で選択できる支払率であれば変更可能
- 事故が発生したら**
自然災害などにより、**1割以上の数量減少が見込まれる**ときは、速やかに事故の発生状況(発生年月日、事故の種類など)を電話やメールでご連絡ください。
この時点で、自然災害等で相当大きな損害があり、資金が必要な方は、無利子によるつなぎ融資の申請を行うことができます。
- 営農計画を変更したら**
加入申請時に提出した営農計画(作付けする品目や面積など)を変更するときは、**変更する農産物等の作付け後1カ月以内**に連絡してください。
- 農作業日誌等の記帳**
農作業日誌や農産物の販売に関する帳簿等(販売売上金額、販売数量、事業消費仕向け数量等)を必ず記帳してください。
- 税務・会計の取扱い**
●保険料および事務費は、保険期間の必要経費(個人)または損金(法人)に計上します。
●会計上は、損益計算書の経費欄に「収入保険保険料・事務費」と記載します。
●積立金は預け金として取り扱われ、課税関係は生じません。(個人・法人)

農業共済新聞

収入保険制度や農業共済制度の解説、農政の動きや全国のNOSAIの取り組みを週刊でお届けします。

収入保険加入者の声もたくさん掲載!

●毎週水曜日発行
年間購読料 4680円
お申し込みはNOSAI広島へ

共済掛金等の納入は 口座振替を ご利用ください

共済事業を適正に運営するため、組合員の皆さまに、共済掛金等を口座振替で納入していただくようお願いしています。
口座振替ができる金融機関は、JA・ゆうちょ銀行・県内に本店を置く銀行などです。
ご理解とご協力をお願いします。
※振替口座の新たな届け出や変更等は、各支所等へご連絡ください。



農作物共済

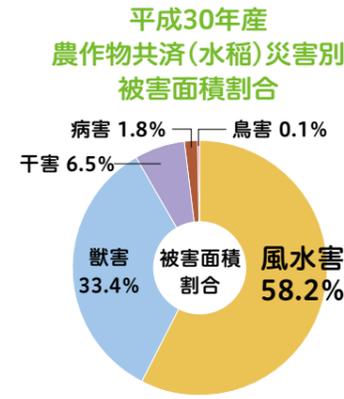
平成30年産水稻の
共済金を支払いました

被害申告をされた9830筆の損害評価の取りまとめを行い、12月19日に国からの認定を得て、12月21日、対象組合員2738戸に共済金3億988万7974円をお支払いしました。

平成30年産 農作物共済(水稻) 支払状況

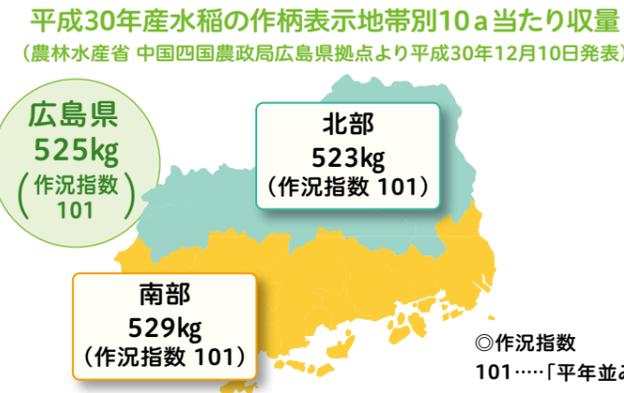
戸数	2,738戸
筆数	8,410筆
面積	86,684.9 a
共済金	309,887,974円

※被害申告された全ての組合員の皆さまへ「損害評価結果について」を通知しました。



平成30年産の水稻の主な被害状況は、西日本豪雨により河川の氾濫や土砂崩れが起こり、稲の冠水・埋没等の被害が発生しました。また、水路や畦畔が崩壊し、用水の確保ができなかったほ場では、不稔や枯れ熟れになるなどの被害が発生しました。

その他、シカ・イノシシによる食害や踏み倒しが県内全域で発生し、一部地域でもち病や紋枯病の被害が発生しました。



※作況指数：10a当たり年収量に対する10a当たり収量の比率です。

水稻共済の補償の
選択肢が拡大します

制度改正による平成31年産からの変更は、次のとおりです。

- 全相殺方式での収穫量の確認方法を緩和
- ▼ 収穫量の確認方法に①JA以外の乾燥調整施設からの計量結果の提供と②税務関係書類(青色申告によるもの)が追加されました。
- 地域インデックス方式の導入
- ▼ 地域の統計データを用い、収穫量が一定割合を超えて減少した場合に共済金をお支払いします。
- 一筆半損特約の導入
- ▼ 半相殺方式・全相殺方式・災害収入共済方式・地域インデックス方式に付帯してご加入いただけます。

制度改正によって、加入方式だけでなく、収入保険への加入も選ぶことができる、任意加入

制となりました。自分に合った補償を選び、頻発する災害に備えましょう。

水稻共済加入申込書兼
変更届出書について

地域の農業再生協議会等から、「平成31年産 水稻共済加入申込書兼変更届出書」(営農計画書)が配布されますので、記入方法などを確認いただき、期限までに取りまとめ先へご提出ください。提出後に水稻作付面積の増減や経営移譲による加入者の変更などがある場合は、速やかにご連絡ください。

農作物共済加入者対象
損害防止事業助成金
を支払いました

防護施設設置に係る資材費として、10月末日までに申請のあった810件について、総額1815万2928円を12月にお支払いしました。



果樹共済

共済金を支払いました

うんしゅうみかん、指定かんきつ、ぶどう、なしについて、損害評価の取りまとめが終了したもののから、共済金をお支払いしました。主な被害は、うんしゅうみかんはイノシシによる食害。指定かんきつは、寒波による枝枯れ、果実のす上がりと腐敗。ぶどうは、干ばつにより果粒の水分が抜け軟化する被害とアライグマなどによる食害。なしは、干ばつによる小玉化でした。

果樹共済 共済金支払状況

区分	戸数(戸)	面積(a)	共済金(円)
平成29年産うんしゅうみかん(災害収入共済方式)	2	165.0	734,234
平成30年産指定かんきつ(半相殺減収総合一般方式)	1	60.0	131,100
平成30年産指定かんきつ(災害収入共済方式)	11	703.5	2,910,632
平成30年産ぶどう(半相殺減収総合一般方式)	6	82.0	709,910
平成30年産なし(半相殺減収総合一般方式)	3	43.1	389,850
合計	23	1,053.6	4,875,726



家畜共済

削蹄助成金交付申請の
期限が近づいています

家畜共済加入の組合員を対象に、削蹄費用の一部を助成します。交付申請書に削蹄料の領収書か請求書の写し、もしくは削蹄実施者による証明を添付し、期限までに提出してください。

【申請期限】平成31年2月28日



園芸施設共済

変更時にはご連絡を

ご加入されている園芸施設について、引受内容に変更がある場合は、速やかにご連絡ください。通知がない場合、共済金のお支払いができないことがあります。

また、平成31年1月に改正された新制度への移行を希望される方は、ご相談ください。

西日本豪雨による
共済金は約6億円

平成30年12月末日現在の西日本豪雨に係る被害の支払状況は次のとおりです。

	水稻共済		麦共済		園芸施設共済		建物共済		農機具共済	
	筆数(筆)	共済金(円)	筆数(筆)	共済金(円)	棟数(棟)	共済金(円)	棟数(棟)	共済金(円)	台数(台)	共済金(円)
広島支所	483	10,814,643			5	2,041,878	64	83,695,207	6	5,022,050
北広島支所	154	8,699,537					17	3,344,394		
東広島支所	1,944	64,337,784	22	40,681	10	1,646,816	110	131,225,144	15	12,451,079
世羅支所	1,789	80,926,968			2	131,807	51	85,748,306	15	32,236,706
福山支所	159	4,414,737			1	51,929	16	7,828,542		
三次支所	432	16,356,613			10	960,473	41	41,571,189	5	1,634,000
計	4,961	185,550,282	22	40,681	28	4,832,903	299	353,412,782	41	51,343,835

臨時総代会を
開催しました

平成30年12月19日に臨時総代会を開催し、全ての議案が原案どおり可決承認されました。

今回の議案は、被害の発生状況に応じて農家ごとの掛金率を設定するためなどのものです。

第1号議案

農作物共済(水稻)危険段階別共済掛金率の設定について

第2号議案

果樹共済危険段階別共済掛金率の設定について

第3号議案

畑作物共済危険段階別共済掛金率の設定について

第4号議案

事業規程の一部変更について



材料(6人分)

- 米……………2合
- もち米……………1合
- 酒……………大さじ1
- 豚肉……………100g
- 干しシイタケ……………小3枚
- ニンジン……………少々
- コマツナ……………1束
- ごま油……………大さじ1
- 砂糖……………小さじ2
- A 塩……………小さじ1/2
- 醤油……………大さじ1と1/2

下準備

- 米ともち米は、といて30分以上水につけておく。
- 干しシイタケは水で戻しておく。

作り方

- 1 戻した干しシイタケ、ニンジンを千切りにする。豚肉はざく切り、コマツナは軸と葉に分けて小口切りにする。
- 2 ごま油でコマツナの葉以外の食材を炒め、Aで味付けをする。
- 3 干しシイタケの戻し汁と酒を炊飯器の3合の目盛りまで入れて炊く。(戻し汁が足りない場合は水を足す)
- 4 ご飯が炊けたら、2とコマツナの葉を混ぜる。



「子どもたちからおしかったという声を聞くとうれいんです」と平尾さん

旬の食材です。すこやかレシポ

コマツナ



地域で食育活動がされている
広島市南区在住
管理栄養士
田中節子 先生

小松菜おこわ



(炊飯時間を除く)

コマツナ
一ロメモ

コマツナは骨粗しょう症予防に有効なカルシウム、その吸収を助けるビタミンK、酸化作用のあるβ-カロテン、貧血予防に効果のある鉄分、その吸収を高めるビタミンC、むくみや高血圧予防に効果のあるカリウムなど栄養が豊富に含まれています。

コマツナは冬が旬ですが、1年中店頭に並び価格の変動も少なく、手に入りやすい野菜です。

あくが少なく生で食べられるので、サラダやジュース、ゼリーなどにも使えます。12月から2月にかけてのコマツナは、霜に当たること葉肉が厚く柔らかくなり、あくが抜けて甘みが増します。

鍋物、炒め物など油を使う料理に使用すると、β-カロテンの吸収率が高まります。

葉の表面から水分が蒸発するので、霧吹きで全体を湿らせてから1〜2枚の新聞紙で包み、さらにビニール袋に入れて根を下に立てた状態で野菜室に保存するのがおすすめです。

健康豆コラム 第5回

心房細動

早期発見で脳梗塞を食い止めよう!



不整脈は、心臓の動きが正常ではないタイミングで起こることをいいます。多くは脈が一時的に乱れるだけで、すぐに正常に戻るため、心配はありません。しかし、中には危険な不整脈もあります。

今回のテーマである「心房細動」は、危険な不整脈のひとつです。ヒトの心臓は、1分間に約60〜80回の規則的なリズムで収縮を繰り返しています。ところが心房細動になると、脈が1分間に100回以上と速くなり、血液を全身に送り出す能力が低下します。

その結果、心臓の中で血液がよどむことで血栓(血の塊)ができやすくなります。その血栓で血管が詰まることで臓器に大きな障害が起こります。特に脳の血管を詰まらせてしまうことが多く、重篤な脳梗塞を招いてしまうのです。心房細動は加齢が影響するため

60歳以上で増加しますが、若い人でも生活習慣が原因で発症することとは珍しくありません。自覚症状には足のむくみや体重の増加があります。急に足が太くなったり、体重が増えたら要注意です。

予防のためにはストレスや睡眠不足、過労、お酒の飲み過ぎを避け、喫煙者は禁煙を。高血圧や糖尿病などの生活習慣病がある方や肥満の方は心房細動になりやすいだけでなく、脳梗塞などの合併症のリスクも高まります。きちんと治療を受け、適正体重を維持しましょう。

心房細動は、治療をすれば高い確率で改善できる病気です。自覚症状がない状態で心房細動を見つけるには、心電図検査を受けるしかないため、年に1回は健診の際に心電図検査を受けましょう。

協力/株式会社社会保険研究所

私の食材
私も作っています

平尾和彦さん(58)

ハウス13棟(27坪)でコマツナを中心にホウレンソウやミズナを周年栽培しています。

土作りにこだわり、地元の酪農家から仕入れた堆肥や、害虫が嫌う燻炭を土に混ぜ込んでいます。出荷の準備などの作業を効率良くすることを常に心掛け、時間を潰して小まめにハウス内を観察しています。害虫や雑草を取り除き、ハウスの中をきれいな状態に保っています。

収穫したコマツナなどは、広島市の市場や廿日市の学校へ給食用に出荷しているほか、同市の「JA産直ふれあい市場」で販売もしているので、ぜひ立ち寄ってみてください。

福山市

段々畑を再生し、島を元気に



平成21年に福山市内海町の田島にUターンした赤羽貴美子さん(40)は、

「荒廃していた段々畑を再生し、「しあわせ畑あかば」を経営しています。瀬戸内海を望む約2畝の畑でレモンや温州ミカンなど9種類、約500本のかんきつを栽培しています。「農業や肥料を一切使わない自然のままの農業

荒廃した畑を再生

で、島を盛り上げていきたい」と話します。

かつての田島は、南側一面にミカン畑が広がり、かんきつ栽培が盛んでした。その後、ミカンの価格の下落などでかんきつ栽培は衰退していき、今では島でミカンを作る人はほとんどいなくなりました。

「過疎化が進む故郷に活気を取り戻したい。島にあるものを生かして、みんなで力を合わせて幸せになれば」と考えた赤羽さんは、祖母が大切にしていたミカン畑の再生を決意しました。

約30年前に栽培を断念し荒れ果てた畑の再生は、畑までの林道の整備から始まりました。レモンの苗木が植えられる状態になるまでに2年、収穫までにはさらに4年がかかりました。



「自然が豊かなこの島を守っていきたい」と赤羽さん



レモンの収穫作業を行う赤羽さん

「当初はゴールが見えない状態で、出荷のときは『おいしく食べてもらってね』と祈るような気持ちでレモンを送り出した」と話します。

共に農作業に携わる父の浩さん(67)と母の久美さん(61)も、「最初は本当に再生できるか、やっていくのかと不安もあった」と話します。同町で花き栽培を営む金高良樹さん(66)は「あの荒れた畑をよく頑張っ

人と環境に優しい畑づくり

て切り開いたと思う。これからも頑張っ

かがやき農業

竹原市高崎町

小中 将史さん(34)

全てはおいしいレタスのために

露地4・5畝でレタスを栽培しています。12月から3月頃までレタスを収穫し、その後はエダマメと多品目の野菜を無農薬で栽培する計画です。

おいしいレタスを作るために、太陽と水、土は欠かせません。有機肥料を与え、自然からの栄養をレタス自身に十分に吸収させます。そうすることで、肉厚で甘い野菜を作ることができ

ます。薬は苗の段階に1回やるだけで、その後は収穫まで一切使用しません。畝を高くすると、その分根がしっかり張り、レタスも大きく成長します。うまくできなかつたときは、根を見ると答えが分か



「たくさんの人に安全でおいしい野菜を食べてもらいたい」と小中さん(左)と、共に作業する兄の龍馬さんと兄嫁の一美さん

いくこともおもしろいですね。静岡県で約3年間レタス栽培に携わり、昨年9月に竹原市で独立しました。レタスを栽培するに当たり、雪が降らない場所を探していて、耕作放棄地だった今の土地を借りられることになり、栽培をスタートしました。



「今年はミカンなど数種類をジュースやジャムに加工する予定です」と話す赤羽さん(左)と両親

ターネットでの受注を中心に消費者へ直接販売され、その評判は人づてに広まっています。

島の活性化に前進

少しずつ木も成長し、今シーズンはレモンのほか、温州ミカンなど全体で1500^キほどの収量を見込んでいます。これから、さらなる販路の確保と拡大が課題だといいます。

「美しい内海の自然を守り、自然のままに育てる、うちのりの農業を続けていきたい。いつかは、内海町の主要産業である漁業とのコラボレーションにも挑戦したい」と話しています。

広島市

町の新たな特産品「ババチャップ」



「この町を盛り上げたい。町外の人にも阿戸町を知ってほしい」と話すふるさと起こしグループ「あーと舎」(広島市安芸区阿戸町、メンバー15人)の代表・今中扶美子さん(71)。同グループは、メンバーと農家が協力して、地元の農作物を使った加工品を生産しています。一昨年から同町の20戸ほどの農家が約10^アの畑で栽培したトマトでケチャップ「ババチャップ」を生産、販売しています。



おばあちゃんたちが作ったケチャップ「ババチャップ」

鮮なトマトを使用し、鍋で煮詰めることでうま味が凝縮され、濃厚なケチャップができます。

ババチャップはJA安芸阿戸支店の前の「阿戸町まるごと市」や同町のパン屋「山のパネテリエ」のほか、町民祭りなどのイベントでも販売されています。地元野菜を使った商品なので、安全・安心だと消費者からも好評です。

今中さんは「ババチャップを阿戸町の特産品として価値を高め、もっといろんな人に知ってもらいたい。ババチャップを作ることのできる町で働く人を増やし、町を元気にしていきたい」と話します。



「元の6分の1ほどの量になり、トマトのうま味が凝縮されます」とトマトをつぶしながら煮る今中さん(右)

県内散歩

三原市(JR三原駅周辺)編

NOSAIキャラクターの「ノーサイくん」が、地域ならではの見所などを訪ねて県内を散策。今回は三原市に行ってきました。

三原城跡ほか

〜小早川隆景の史跡を巡る〜

小早川隆景は毛利元就の三男として生まれ、戦国時代の終わりに活躍した武将です。戦略に優れていたため、「軍師」として活躍した黒田官兵衛からは「本当の天才」と称されたと伝えられています。

永禄10年(1567年)に隆景が築城した三原城は、満潮時、城の姿が海に浮かぶように見えたことから「浮城」とも呼ばれていました。三原城の天主台や船入櫓の一部など城跡が、JR三原駅付近に多く残されています。「隆景広場」として整備され、三原城や隆景についての説明が随所にあります。駅の南口を出て3分の場所にある「みはら歴史館」では、ジオラマや甲冑などが展示され、三原城や隆景についてさらに詳しく学ぶことができます。



JR三原駅西ロータリー近くにある小早川隆景像



JR三原駅2階コンコースに直結する天主台跡



三原市観光案内も充実している「みはら歴史館」



隆景広場の石碑



戦国時代に
思いをはせながら
散策してみよう!



神明の里からの多島海の絶景

道の駅「みはら神明の里」

JR三原駅から車で10分ほどの高台にある道の駅「みはら神明の里」は、地元の人、観光客など年間でおよそ51万人が訪れます。

地元農林水産物を扱うコーナーでは、地元の農家から仕入れた新鮮な野菜が多く売られています。従業員手作りのPOP(店頭広告)には、売り出している農産物に合わせて体に良い食べ合わせなどが紹介されています。

道の駅の中にあるレストラン「漁師と農家の台所 Kitchen ルマード」では、近くの港で水揚げされたタコを使った料理や、ソフトクリーム「みはらみるく」を使ったスイーツなどが提供されています。タコの天ぷらを「飯にのせた「タコ天丼」は利用者に人気の逸品です。



三原のタコは
身がしまって
ぷりぷりだよ



タコ天丼じゃー定食 880円(税込み)



「2月からは『せとか』『はるか』などのかんきつがおすすめです」と中石田国昭駅長

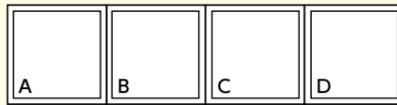
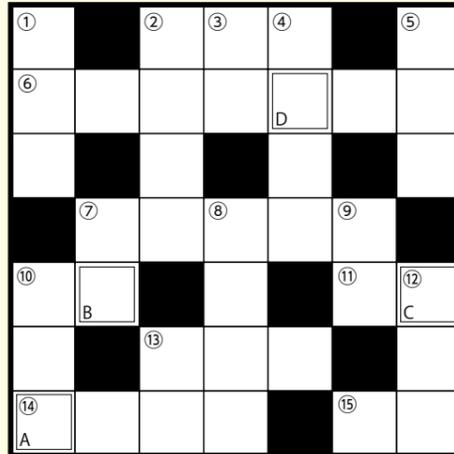
道の駅「みはら神明の里」

三原市糸崎4-21-1
TEL0848-63-8585

クロスワードクイズ

タテのカギ

- 竹原市の大久野島に多くいる動物
- 三原城を築城した小早川〇〇〇〇(ヒントは14ページ)
- 海が陸地に入りこんだところ。広島には広島〇〇があり、カギが有名
- 辛いトウガラシ。別名アマトウガラシともいい、ピーマンの仲間
- 〇〇〇危うきに近寄らず
- 石川県の南部で、かつて金箔を多く生産していた場所。百万石以上の大藩だった
- 災害を予防すること。〇〇〇〇訓練はしっかりと!
- 宮島や奈良市に多くいる動物
- 小豆を煮て、餅や白玉を入れた食べ物。お〇〇〇
- 音声だけの放送。災害時の情報取得に役立つ
- 「旬の食材ですこやかレシビ」の小松菜おこわ。材料のコマツナは1〇〇



ヨコのカギ

- ゴシゴシこすって汚れを落とすためのもの
- 寒くなったり暖かくなったりしながら春が来ること。四字熟語で
- 人の影のこと
- 日本一大きな湖の琵琶湖がある県
- 何にもないこと。〇〇箱、〇〇っぼ
- いろんな才能があること
- 紅い梅のこと。2月から4月が見頃
- 2018年上半期のNHK連続テレビ小説のタイトル「半分、〇〇い」

応募方法

はがきに答えを書いて送ってください。

●締め切り

2019年

5月7日(火)

(当日の消印有効)

※当選者の発表は、景品の発送をもってかえさせていただきます。
※ご意見・ご感想を紙面で紹介させていただきます。都合があります。
※はがきの内容は、景品の発送と紙面作り以外の目的には使用いたしません。

今回のプレゼント

正解者の中から抽選で30名様にプレゼント

道の駅みはら神明の里の「三原のタコ商品詰め合わせ」

「県内散歩」で訪れた三原市の特産品であるタコを使用した商品の詰め合わせです。「いいだこ」、「たこせん」、「たこ飯の素」をセットにしてお届けします。



前回の答え

イ	ワ	シ	グ	モ
ワ	シ	グ	モ	イ
モ	イ	デ	シ	ロ
ノ	キ	ダ	シ	ロ
コ	ゴ	ド	ロ	ウ
イ	フ	ウ	ド	ウ

※応募いただいた323通のはがきの中から厳正な抽選を行い、30名の方に景品をお届けしました。

おたより

クイズの応募に合わせてたくさんのお声をいただきました。その中から一部をご紹介します。

●表紙写真をかざってくださるかわいいお子様たち、ほほ笑みと心地よい気持ちが広がっています。孫たちの幼き日々が昨日のこのように思い出されます。
廿日市市玖島 ーさん(76)

●「地域の話題」を読むと若い人からベテランの方まで楽しく頑張っておられ、ほっ、とし、明るい気持ちになりました。
安芸高田市甲田町 Kさん(68)

●今年は豪雨で身近な人が被害を受け、改めて保険の必要性を感じました。
大崎上島町 Mさん(68)

●健康豆コラム、大変参考になります。快眠のために昼と夜の活動にメリハリをつけようと思います。
世羅町 Sさん(38)

●毎回県内散歩を楽しんでいます。知らないところが多く、とても参考になり、行ってみたいと思います。今後も楽しみに待っています。
福山市金江町 Hさん(63)

●「リングと豚肉のりんご酢煮」食材がそろっていましたが、すぐに作ってみました。おいしいです!
庄原市口和町 Sさん(63)

NOSAIの パートナー

庄原市上原町

わたなべ かずし
渡邊 一史さん(67)

長年、共済委員を務め、地域の方とコミュニケーションをとることを心掛けています。現在は、NOSAI部長と損害評価会支所委員も兼務しています。米作りは数年前にやめました。長年の経験を生かし、農家の役に立てるよう頑張ります。

畑で季節の野菜を作り、息子夫婦へ送っています。おいしいという声を聞くのが楽しみです。



きらり



安芸高田市高宮町

こばやかわ あやか
小早川 絢可さん(20)

昨年の春、県立農業技術大学校を卒業し、米作りがしたくて、農事組合法人「星城の里」に就職しました。

外での作業が好きで、田植機やコンバインなどの機械を動かして作業をすることが楽しいです。苗を真っすぐに植えることは難しいですが、技術を磨いて、早く一人前になれるよう頑張ります。

広島県警防犯情報

災害に便乗した
トラブルが発生中!



「被災者の力になりたい」という善意を悪用した詐欺が発生しています。西日本豪雨から半年が経ちますが、今後も災害を口実にした悪質トラブルに巻き込まれないよう、ご注意ください。

災害を口実にした詐欺の一例

- 公的機関や市の職員などを装い、義援金や見舞金を振り込むよう依頼するハガキやメールを送ってくる。また、自宅に訪問し依頼してくるケースもある。
- 震災関係のアンケートに答えさせ、個人情報を出そうとする。
- 「被災者のために高齢者施設の入居権を譲ってくれば高く買い取る」などと実態のあいまいなもっけ話を持ち出す。

トラブルに巻き込まれないために

- 義援金を送る際は、活動状況や実績を確認し、確かな団体を通して送らしましょう。見ず知らずの団体や個人には注意しましょう。
- 公的機関が電話などで義援金を求めることはありません。電話帳に掲載されている電話番号にかけて確認しましょう。

おかしいと感じたら、警察や消費者ホットライン(局番なし188番)へ相談しましょう。

※詳しくは広島県警察本部のホームページをご覧ください。

NOSAI広島への お問い合わせ・ご連絡先

● 本所	082-262-4711
● 広島支所	082-261-1112
● 廿日市出張所	0829-32-5121
● 北広島支所	0826-72-3107

● 東広島支所	082-434-4337
● 安芸津出張所	0846-45-5327
● 江田島連絡所	0823-45-2019
● 世羅支所	0847-22-0317
● 福山支所	084-970-1620
● 三次支所	0824-66-3111

